

最低賃金

二年連続で全ランク一〇円以上を答申——中央最低賃金審議会

TOPICS

1

厚生労働省の中央最低賃金審議会（仁田道夫・会長）は七月二十九日、田

村憲久・厚生労働大臣に対し、平成二六年度の地域別最低賃金額の改定目安について答申した。引上げ目安は、Aランクが一〇円、Bランクが一五円、Cランクが一四円、Dランクが一三円とされ、全国の加重平均では一六円となった。最低賃金が目安通りに決定されれば、北海道、宮城、東京、兵庫、広島が残っていた生活保護との「逆転現象」も解消され、全都道府県で最低賃金が生活保護水準を上回るようになる。

公労使がギリギリの議論を展開

平成二六年度の地域別最低賃金の改定目安をめぐっては、七月一日に厚生労働相から諮問を受けた中央最低賃金審議会に設置された「目安に関する小委員会」で議論がスタート。小委員会は七月一日、一五日、二三日、二八日、二九日の五回にわたる議論を経て、「目安に関する公益委員見解」及び「目安に関する小委員会報告」のとりまとめに漕ぎ着けた。

労使の主張の隔たりは大きく、小委員会での議論は二八日の一〇時から行われた第四回が二九日の未明まで約一五時間におよび、その後、同日一四時より第五回を仕切り直して二〇時近く

まで、公労使で詰めの議論が展開された。

労働者側委員は「①各ランク区分とも昨年を上回る目安額となること②マクロの経済成長が所得向上に反映されること③組織労働者の賃上げが最低賃金にも反映されること④生活保護との乖離解消は単年度で行われること⑤足下の物価上昇について配慮すること⑥ランク間格差の解消を図ること⑦最低賃金の適切な水準について議論を深めることが必要で、とくにC・Dランクの本来あるべき水準を加味した審議を行うべき」などと強く主張した。

これに対し、使用者側委員は「企業の経営環境は、安倍政権の経済政策によって総じて改善してきているが、中小企業・小規模事業者では、円安による原材料価格や燃料費の高騰等によるコスト増や、人手不足による人件費の増大への対応に苦慮していることに加えて、取引先企業の海外進出による受注の減少や、地域における人口減少等のマイナス要因もあり、景況感に大きな改善がみられるまでには至っていない」とし、「このような現状を踏まえると、中小企業・小規模事業者の活力を削ぐような事態を招くことになれば、地域の雇用・経済に深刻な悪影響を与えることになる」と主張。

また、「過去五年間にわたって、生活

保護との乖離解消や、生産性と関係なく引上げを最優先する審議が続いたことにより、大幅かつ急激な引上げが続いてきた。その結果、影響率も上昇し、最低賃金の引上げが企業経営に与えるインパクトが、従来以上に高まっている」などと主張した。

こうしたなか、公益委員としては「経済財政運営と改革の基本方針二〇一四」及び「日本再興戦略」改訂二〇一四」に特段の配慮をし、また、一定の前提の下での比較を行った結果、生活保護水準と最低賃金との乖離額が生じている地域については、実際の賃金分布との関係等にも配慮しつつ、労使の中小企業・小規模事業者の経営実態等への配慮及びそこに働く労働者の労働条件の改善の必要性に関する意見等にも表れた諸般の事情を総合的に勘案」するなどし、「目安に関する公益委員見解」をまとめた。

全国加重平均では三年連続の二桁増

「目安に関する公益委員見解」として、地方最低賃金審議会に示されたランクごとの引上げ額は、Aランク（東京、大阪、愛知を含む五都府県）が一〇円、Bランク（京都、埼玉など一府県）が一五円、Cランク（北海道、福岡など一四道県）が一四円、Dランク（沖

縄、青森など一七県）が一三円で、全国加重平均では一六円となった。いずれのランクも、昨年度（Aランク一九円、Bランク一二円、C・Dランク一〇円）と同じかそれを上回る水準で、引上げ幅が全ランクで一〇円以上になるのは二年連続となる。

全国加重平均でも、一昨年度の一二円、昨年度の一四円に続き、三年連続となる二桁増。一六円は平成二二年度の一七円に迫る、四年ぶりの水準となっている。平成二五年度の地域別最低賃金の全国加重平均は七六四円となっていることから、一六円の引上げにより七八〇円に乗せることになる。

生活保護水準との逆転現象は全都道府県で解消の見通し

なお、生活保護水準が最低賃金を上回るいわゆる「逆転現象」が、生活扶助基準における住宅扶助実績値（いわゆる住居費用補助）の上昇や、最低賃金で一定時間働いた場合の可処分所得の税・社会保険料の負担増に伴う低下を受け、北海道（乖離額は一一円）、宮城（二円）、東京（二円）、兵庫（二円）、広島（四円）の五都道県で残されていた。東京はAランク、兵庫・広島はBランク、北海道・宮城はCランクとなつているため、最低賃金が目安額通りに改定されれば、逆転現象も全地域で解消される見通しとなった。

（調査・解析部）